

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2009年11月26日から2029年10月19日 (2025年12月23日 繰上償還)	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	東京海上・アジア中小型成長株ファンド	「東京海上アジア中小型エクイティファンド(TMA Asian Small to Mid Cap Equity Fund)」、「東京海上マネーマザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とします。
	東京海上アジア中小型エクイティファンド	日本を除くアジア諸国・地域の中小型株式等を主要投資対象とします。
	東京海上マネーマザーファンド	円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーなどを主要投資対象とします。
投資制限	東京海上・アジア中小型成長株ファンド	<ul style="list-style-type: none"> 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	東京海上アジア中小型エクイティファンド	<ul style="list-style-type: none"> 同一企業が発行する株式への投資は、ファンドの純資産総額の10%を超えないものとします。 投資信託証券への投資は、ファンドの純資産総額の5%を超えないものとします。
	東京海上マネーマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

東京海上・アジア中小型成長株ファンド

繰上償還 運用報告書 (全体版) 第33期 (償還日 2025年12月23日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「東京海上・アジア中小型成長株ファンド」は、このたび、2025年12月23日をもって繰上償還となりました。ここに、運用経過と償還の内容をご報告申し上げます。
長年のご愛顧に対し厚くお礼申し上げますと共に、今後とも当社ファンドにつきましてお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016

受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		債券組入比率	投資信託組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金	騰落率	騰落	騰落率			
	円 銭	円	%		%	%	%	百万円
29期(2024年4月22日)	8,405	0	4.7	33,762	11.1	0.1	97.2	982
30期(2024年10月21日)	9,049	0	7.7	37,819	12.0	0.1	97.2	999
31期(2025年4月21日)	7,584	0	△16.2	32,407	△14.3	0.1	95.1	735
32期(2025年10月20日)	10,200	200	37.1	43,460	34.1	0.1	96.1	910
(償還時)	(償還価額)							
33期(2025年12月23日)	10,914.37	—	7.0	45,833	5.5	—	—	891

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券組入比率	投資信託組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円 銭	%		%	%	%
2025年10月20日	10,200	—	43,460	—	0.1	96.1
10月末	10,914	7.0	45,928	5.7	0.1	97.3
11月末	10,861	6.5	45,479	4.6	0.1	96.4
(償還時)	(償還価額)					
2025年12月23日	10,914.37	7.0	45,833	5.5	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

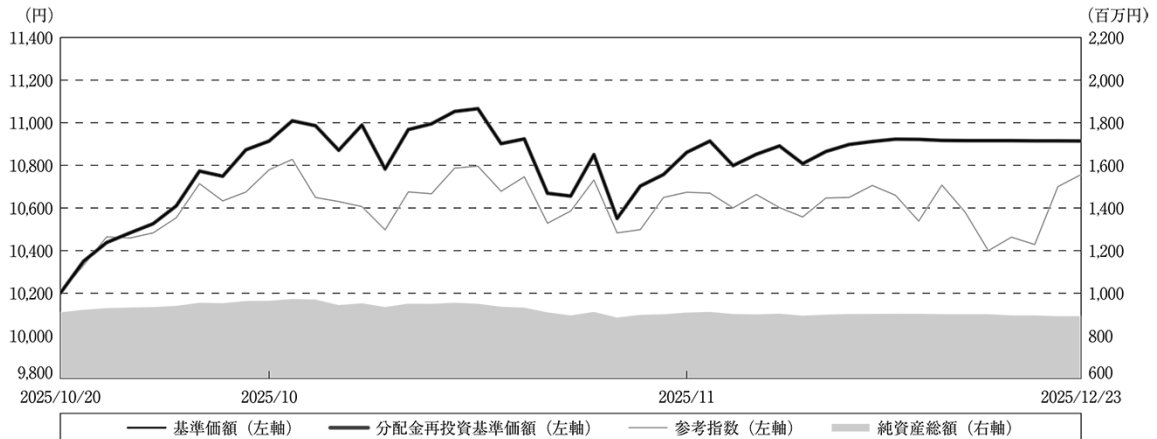
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

参考指数はMSCI AC Asia ex JP Small Mid (配当込み、円換算ベース)です。参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準日前日のMSCI AC Asia ex JP Small Mid (米ドルベース)を委託会社が円換算したものです。
MSCI AC Asia ex JP Small Midの著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCI社はファンドとは関係なく、ファンドから生じるいかなる責任も負いません。
参考指数は、MSCI AC Asia ex JP Small Mid (配当込み、円換算ベース)を設定日の値が10,000となるように指数化したものです。

○運用経過

(2025年10月21日～2025年12月23日)

■期中の基準価額等の推移



期 首：10,200円

期末(償還日)：10,914円37銭 (既払分配金(税込み)：-)

騰 落 率： 7.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2025年10月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 参考指数は、MSCI AC Asia ex JP Small Mid (配当込み、円換算ベース)です。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・半導体メモリの供給不足を受けた需給改善への期待の高まり
- ・為替市場における円安の進行

マイナス要因

- ・AI(人工知能)関連の過剰投資に対する懸念
- ・レアアース輸出規制などを巡る米中間対立激化に対する懸念

■投資環境

当期のアジア株式市場は小幅に下落しました。半導体メモリの供給不足による需給改善見通しから韓国市場は強含んだものの、レアアース輸出規制を巡り米国との関係悪化に対する懸念などから上海市場は小幅に下落しました。また、AI関連に対する過剰投資への懸念の高まりから台湾市場も弱含みました。

為替市場では、米ドル円為替レートは円安米ドル高となりました。日本政府が円安けん制を強めるなか、高市政権の積極的な財政政策への思惑や、それに伴う日銀の利上げ観測の後退などを受け円安米ドル高が進行しました。一部のFRB（米連邦準備制度理事会）高官による2025年12月FOMC（米連邦公開市場委員会）での利下げを示唆する発言などから円高米ドル安に転じる場面があったものの、期を通しては円安米ドル高となりました。域内通貨に対しても同様の動きとなり、円安基調となりました。

■ポートフォリオについて

<東京海上・アジア中小型成長株ファンド>

「東京海上アジア中小型エクイティファンド」（以下、外国投資信託証券）および「東京海上マネーマザーファンド」（以下、親投資信託）を主要投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちました。

当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、主に外国投資信託証券の値動きを反映し、7.0%上昇しました。

<外国投資信託証券>

アジア各国・地域の高い経済成長に着目し、個別企業の調査・分析を基に、業績拡大が期待される中小型株を中心に投資を行いました。当期は、政治的な混乱の落ち着きもあり株価が上昇したフィリピンのオンラインゲーミング関連会社がプラス寄与した一方、株式市場全体の調整につられて下落した韓国の資本財関連銘柄や素材関連銘柄などの株価下落がパフォーマンスにマイナス寄与しました。償還に向け、積極的な売買を手控え、保有ポジションの売却を進めました。

以上の運用の結果、基準価額は7.5%上昇しました。

<親投資信託>

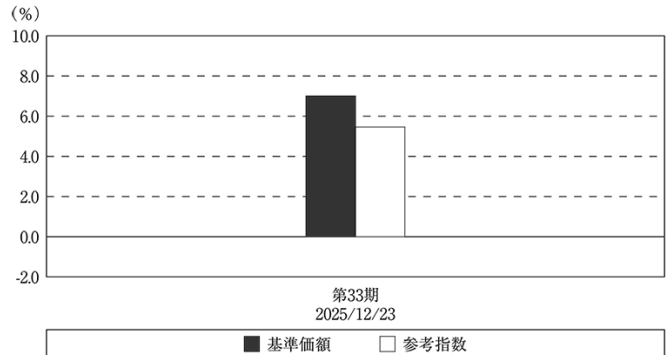
元本の安全性と流動性を重視し、国債などを中心とする円建て短期公社債に投資してプラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいで推移しました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 参考指数は、MSCI AC Asia ex JP Small Mid（配当込み、円換算ベース）です。

■分配金

該当事項はありません。

○設定来の運用経過

(2009年11月26日～2025年12月23日)

■設定来の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、設定日（2009年11月26日）の値が10,000となるように指数化したものです。
- (注) 参考指数は、MSCI AC Asia ex JP Small Mid（配当込み、円換算ベース）です。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・半導体関連にけん引された台湾・韓国市場の上昇
- ・アジア経済の新たなけん引役として期待されたインド市場の上昇
- ・為替市場における円安の進行

マイナス要因

- ・中国経済の成長率鈍化
- ・東南アジア各国の政治の混乱

■投資環境

運用期間のアジア株式市場は大きく上昇しました。運用期間前半、安定した経済成長を見せていた東南アジア市場が大きく上昇する場面が見られたなか、中国経済に変わる新たなけん引役として期待されたインド市場や、半導体関連で高い成長が期待された台湾市場がアジア株式市場をけん引しました。運用期間後半、その傾向はより顕著となり、台湾市場やインド市場が大幅に上昇した一方、経済成長率が鈍化した上海、香港市場や政治の混乱が嫌気された東南アジア市場は出遅れました。

為替市場では、米ドル円為替レートは円安米ドル高となりました。運用期間前半、欧州債務問題の長期化や世界経済の景気減速懸念などを背景に大幅な円高に振れる場面があったものの、アベノミクスに代表される円安誘導策により円安米ドル高が進展しました。2021年以降は米国の金融政策正常化に伴う日米金利差拡大を背景に更に円安が加速しました。域内通貨に対しても同様の動きとなり、過半のアジア通貨に対しても円安となりました。

■ポートフォリオについて

<東京海上・アジア中小型成長株ファンド>

「東京海上アジア中小型エクイティファンド」(以下、外国投資信託証券) および「東京海上マネーマザーファンド」(以下、親投資信託) を主要投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちました。

当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資)は、主に外国投資信託証券の値動きを反映し、115.5%上昇しました。

<外国投資信託証券>

アジア各国・地域の高い経済成長に着目し、個別企業の調査・分析を基に、業績拡大が期待される中小型株を中心に投資を行いました。

国・地域別には、東南アジア域内市場に上場する銘柄を多く保有しました。業種別には、消費関連の銘柄を多く保有しました。

保有銘柄では、台湾の電子部品・半導体関連や韓国美容関連、インドの消費・金融等の株価が好調に推移した一方で、中国/香港の銘柄が全般に弱含みました。

為替市場では、域内通貨全般に対して円安が進行したことがプラス寄与しました。

以上の運用の結果、基準価額は158.0%上昇しました。

<親投資信託>

元本の安全性と流動性を重視し、国債や地方債などを中心とする円建て短期公社債に投資してプラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね安定的に推移しました。

■分配金

当ファンドの収益分配方針に基づき、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、収益分配を行いました。各期の分配金額につきましては、後掲の「投資信託財産運用総括表」をご覧ください。

当ファンドは、2025年12月23日をもちまして償還となりました。最後に、受益者の皆さまのご愛顧に心よりお礼を申し上げますとともに、今後とも当社ファンドにつきまして一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年10月21日～2025年12月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 24	% 0.217	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(7)	(0.068)	*委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(16)	(0.145)	*購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.005)	*運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	*監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0.219	
期中の平均基準価額は、10,887円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

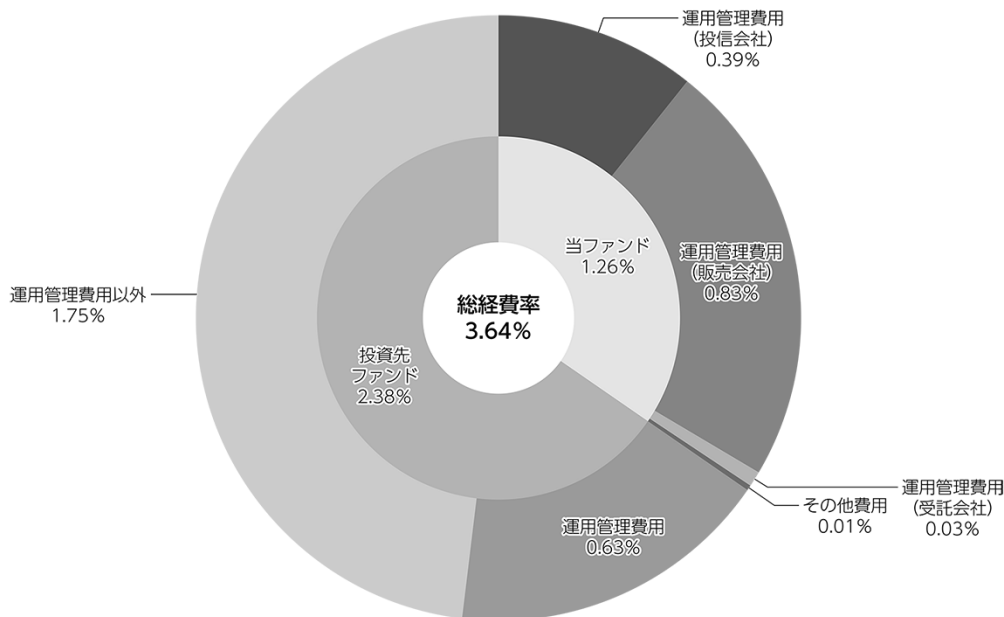
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.64%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	3.64
①当ファンドの費用の比率	1.26
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.63
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.75

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年10月21日～2025年12月23日)

投資信託証券

銘			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	ケイマン	東京海上アジア中小型エクイティファンド	千口 —	千円 —	千口 2 (34)	千円 58,136 (881,371)

(注) 金額は受渡代金です。

(注) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれていません。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
東京海上マネーマザーファンド		千口 —	千円 —	千口 1,100	千円 1,118

○利害関係人との取引状況等

(2025年10月21日～2025年12月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年12月23日現在)

2025年12月23日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘		期首(前期末)	
		口数	千口
東京海上アジア中小型エクイティファンド			36
合	計		36

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
東京海上マネーマザーファンド			千口 1,100

○投資信託財産の構成

(2025年12月23日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	903,159	100.0
投資信託財産総額	903,159	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2025年12月23日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	903,159,843
コール・ローン等	903,142,432
未収利息	17,411
(B) 負債	11,207,376
未払解約金	9,186,152
未払信託報酬	2,003,453
その他未払費用	17,771
(C) 純資産総額(A-B)	891,952,467
元本	817,227,330
償還差益金	74,725,137
(D) 受益権総口数	817,227,330口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,914円37銭

(注) 当ファンドの期首元本額は892,241,339円、期中追加設定元本額は1,360,573円、期中一部解約元本額は76,374,582円です。

(注) 上記表中の1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況

(2025年10月21日～2025年12月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	58,447
受取利息	58,447
(B) 有価証券売買損益	60,184,845
売買益	64,209,805
売買損	△ 4,024,960
(C) 信託報酬等	△ 2,021,224
(D) 当期損益金(A+B+C)	58,222,068
(E) 前期繰越損益金	90,507,510
(F) 追加信託差損益金	△ 74,004,441
(配当等相当額)	(88,336,929)
(売買損益相当額)	(△162,341,370)
償還差益金(D+E+F)	74,725,137

(注) (C) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2009年11月26日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年12月23日			資産総額	903,159,843円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	11,207,376円	
受益権口数	2,736,310,000口	817,227,330口	△1,919,082,670口	純資産総額	891,952,467円	
元本額	2,736,310,000円	817,227,330円	△1,919,082,670円	受益権口数	817,227,330口	
				1万口当たり償還金	10,914円37銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	10,963,890,000円	11,207,187,483円	10,222円	1,200円	12.00%	
第2期	17,084,760,000	17,156,529,507	10,042	550	5.50	
第3期	20,719,179,928	20,821,532,333	10,049	700	7.00	
第4期	18,793,157,572	14,533,912,807	7,734	0	0.00	
第5期	16,373,287,682	14,560,365,020	8,893	0	0.00	
第6期	9,675,671,961	8,469,259,964	8,753	0	0.00	
第7期	7,440,983,967	8,078,892,363	10,857	1,200	12.00	
第8期	5,245,775,764	5,695,887,136	10,858	300	3.00	
第9期	4,167,884,094	4,692,763,781	11,259	1,000	10.00	
第10期	4,702,323,510	5,149,670,481	10,951	1,000	10.00	
第11期	10,227,452,291	11,548,863,667	11,292	1,500	15.00	
第12期	5,679,009,788	5,217,546,423	9,187	0	0.00	
第13期	4,716,483,525	3,639,752,527	7,717	0	0.00	
第14期	4,097,570,779	3,118,898,037	7,612	0	0.00	
第15期	3,919,018,634	3,132,131,545	7,992	0	0.00	
第16期	3,957,320,986	3,403,149,269	8,600	0	0.00	
第17期	3,687,207,452	3,100,929,893	8,410	0	0.00	
第18期	3,202,722,182	2,352,893,918	7,347	0	0.00	
第19期	2,620,995,027	2,217,793,722	8,462	0	0.00	
第20期	2,363,151,008	1,693,158,663	7,165	0	0.00	
第21期	2,171,255,653	1,210,845,395	5,577	0	0.00	
第22期	2,119,219,723	1,328,550,499	6,269	0	0.00	
第23期	2,149,397,546	1,660,089,032	7,724	0	0.00	
第24期	2,087,276,276	1,674,071,544	8,020	0	0.00	
第25期	1,880,469,069	1,442,842,636	7,673	0	0.00	
第26期	1,493,993,511	1,069,782,872	7,161	0	0.00	
第27期	1,361,085,513	1,015,951,901	7,464	0	0.00	
第28期	1,261,909,384	1,013,159,255	8,029	0	0.00	
第29期	1,168,701,311	982,267,472	8,405	0	0.00	
第30期	1,104,946,310	999,852,942	9,049	0	0.00	

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	969,813,292円	735,550,932円	7,584円	0円	0.00%
第32期	892,241,339	910,090,286	10,200	200	2.00

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金 (税込み)	10,914円37銭
------------------	------------